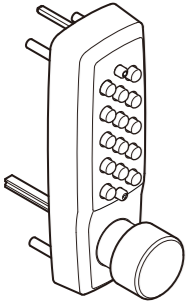
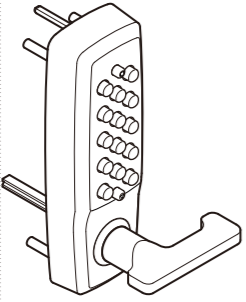
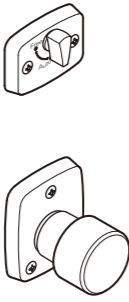
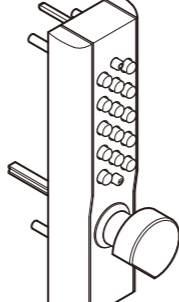
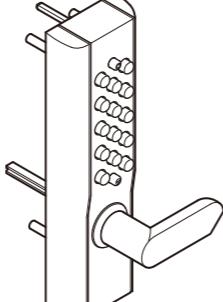

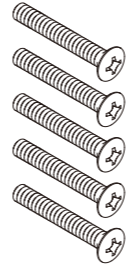
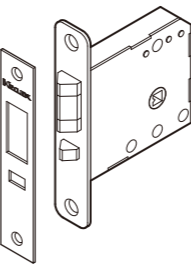
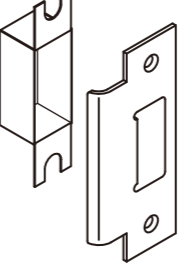



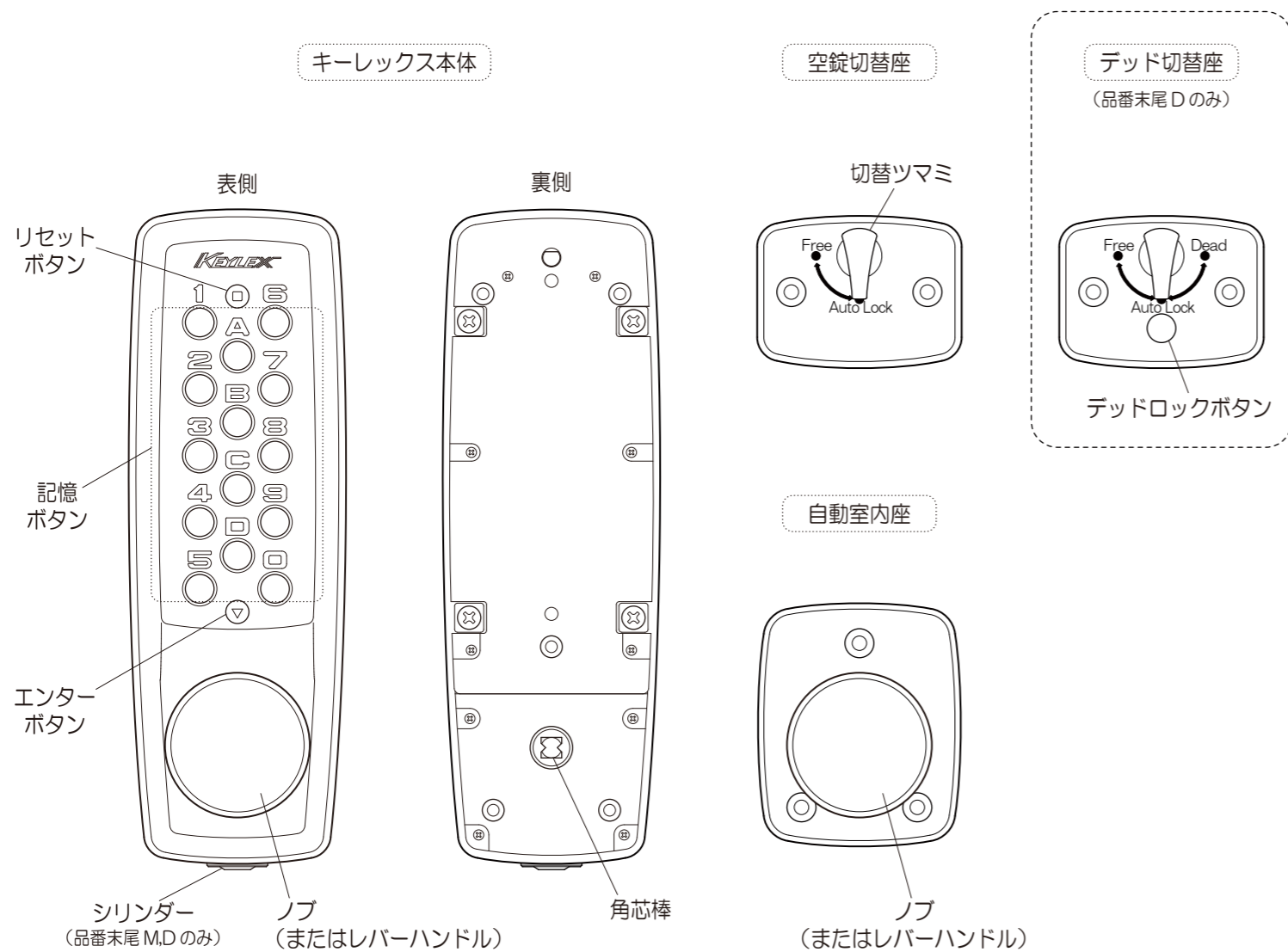




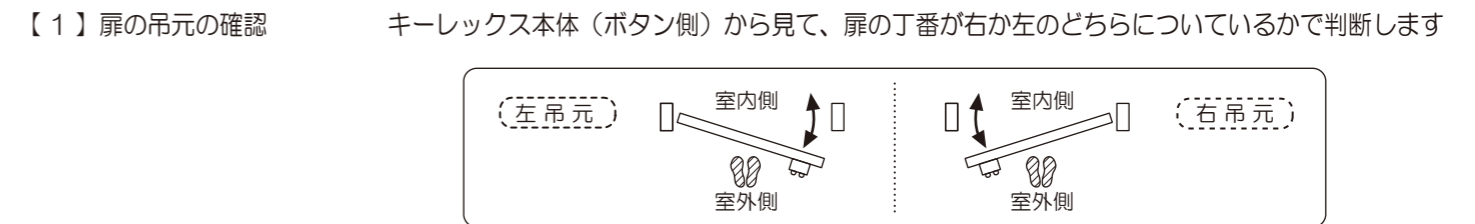
梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください

 ① KL 22403(M,D) 本体 1	 ① KL 22423(M,D) 本体 1	 ② KL2100 室内座 （各仕様対応） 1	 ① KL 22603(M,D) 本体 1	 ① KL 22623(M,D) 本体 1	 ② KL1100 室内座 （各仕様対応） 1	 ③ 本体固定ねじ 長さ 35 mm 5	 ④ ARS 錠 set 1	 ⑤ 受座 set 1	 ⑥ 錠・受座取付ねじ 長さ 25 mm 4	 ⑦ 取扱説明書 set 1	 ⑧ キー （品番末尾 M,D の ③ に同梱） 2
---	--	--	--	--	--	---	---	--	---	---	--

1 各部の名前： キーレックス 2100 での説明ですが、キーレックス 1100 も同様です

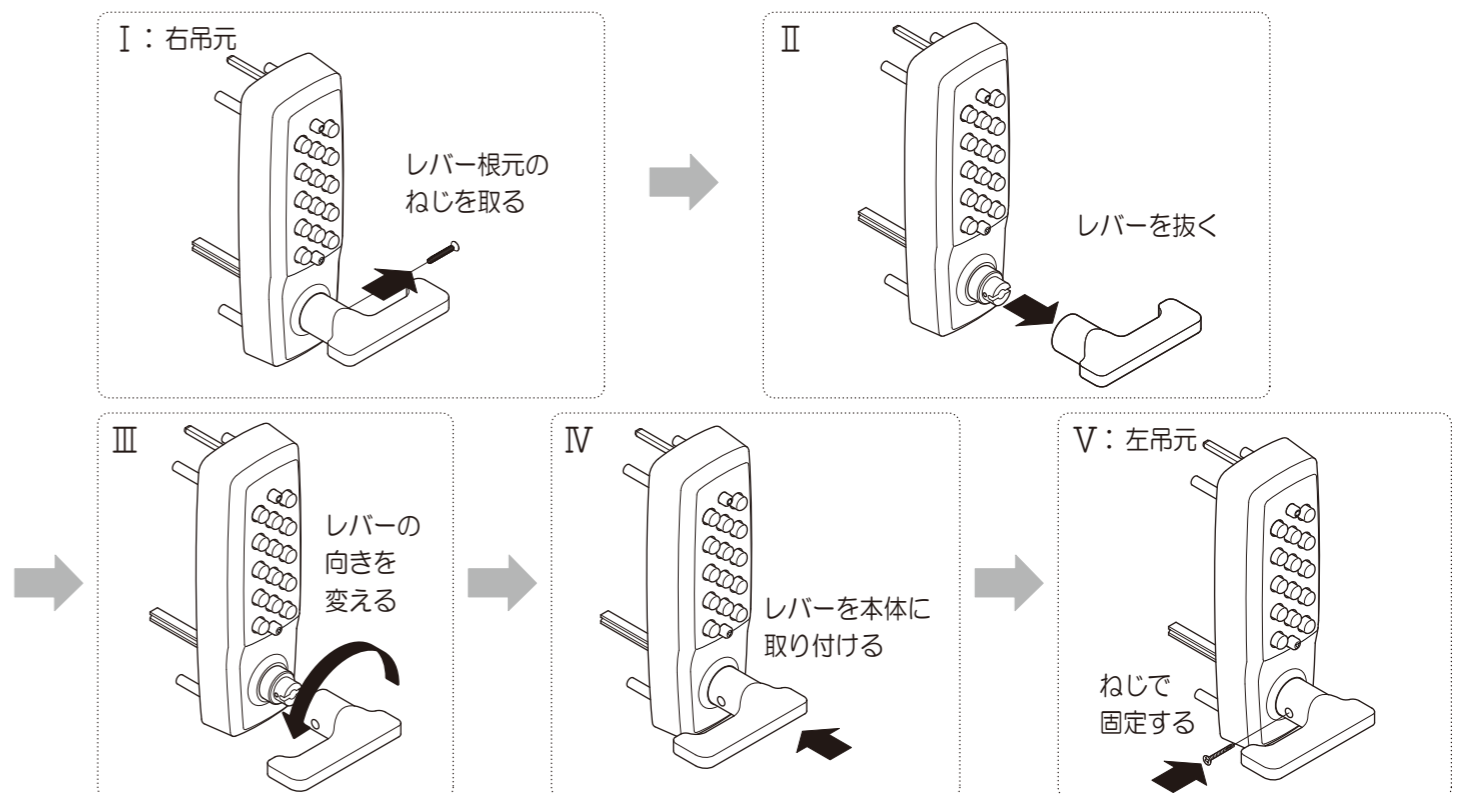


2 取付前の準備： ⑦ 作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください（クサビ等で扉を固定するとよい）

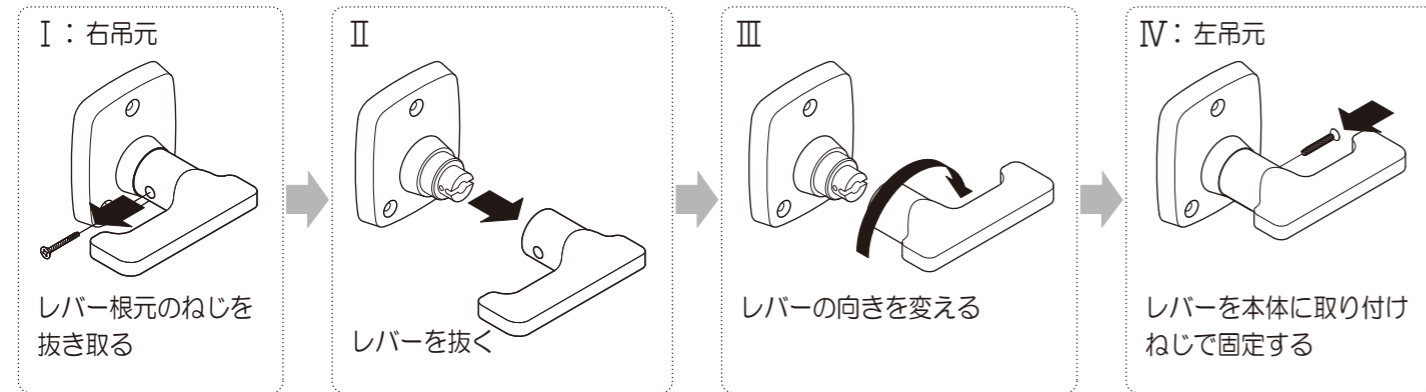


【2】キーレックス本体の吊元対応

レバータイプの KL は左吊元時にレバーハンドルの向きを変える必要があります
 工場出荷時は右吊元位置に取り付けてあります
 左吊元時は、キーレックス本体と自動室内座のレバーハンドルの向きを変え固定します



自動室内座も左吊元時はレバーハンドルの向きを変えます



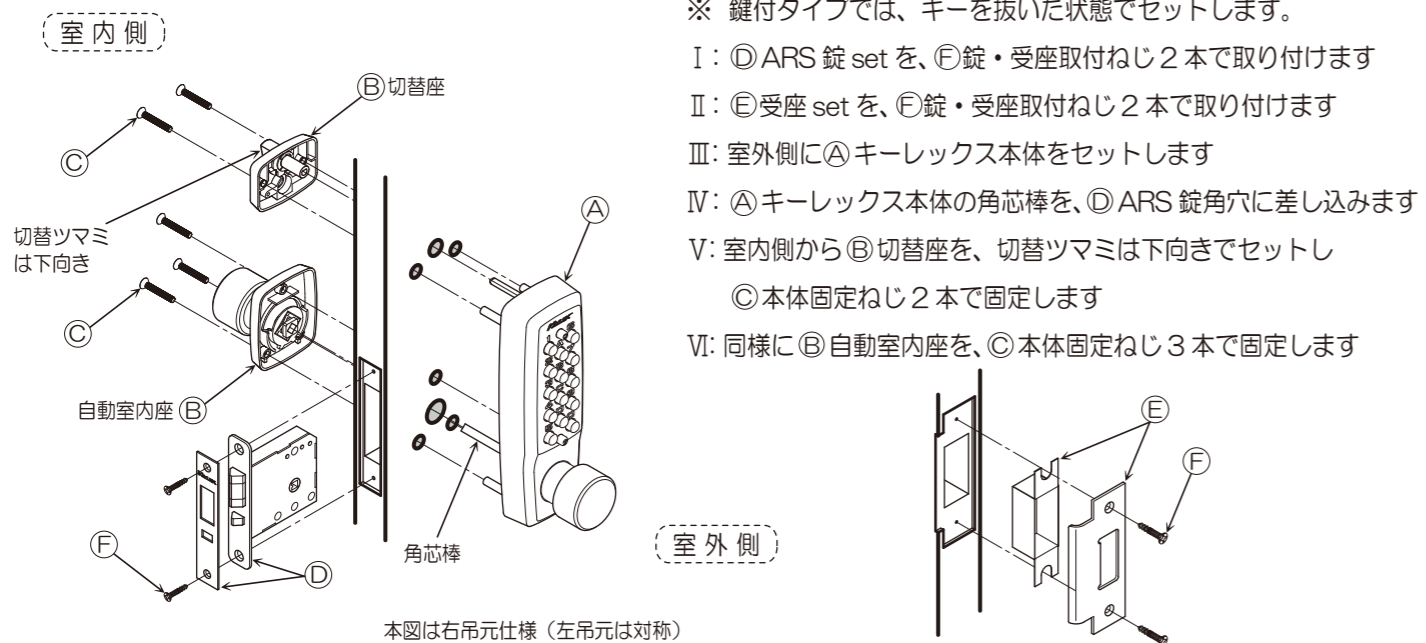
3 扉への取り付け穴加工

④キーレックス本体・⑤ARS 錠 set・⑥受座 set の取り付け穴加工をします（別紙切欠図参照）

4 記憶番号の確認

④ キーレックス本体にセットされている記憶番号を確認します。記憶番号を変更するときは、ここでおこないます
詳しくは取扱説明書の『記憶番号の変更手順』をご覧ください

5 ARS 錠・受座・キーレックス 2100 (1100) の取り付け



※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I: ㊦ARS 錠 set を、㊦錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます

II: ㊦受座 set を、㊦錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます

III: 室外側に㊦キーレックス本体をセットします

IV: ㊦キーレックス本体の角芯棒を、㊦ARS 錠角穴に差し込みます

V: 室内側から㊦切替座を、切替ツマミは下向きでセットし

㊦本体固定ねじ 2 本で固定します

VI: 同様に㊦自動室内座を、㊦本体固定ねじ 3 本で固定します

本図は右吊元仕様（左吊元は対称）



www.nagasawa-mfg.co.jp

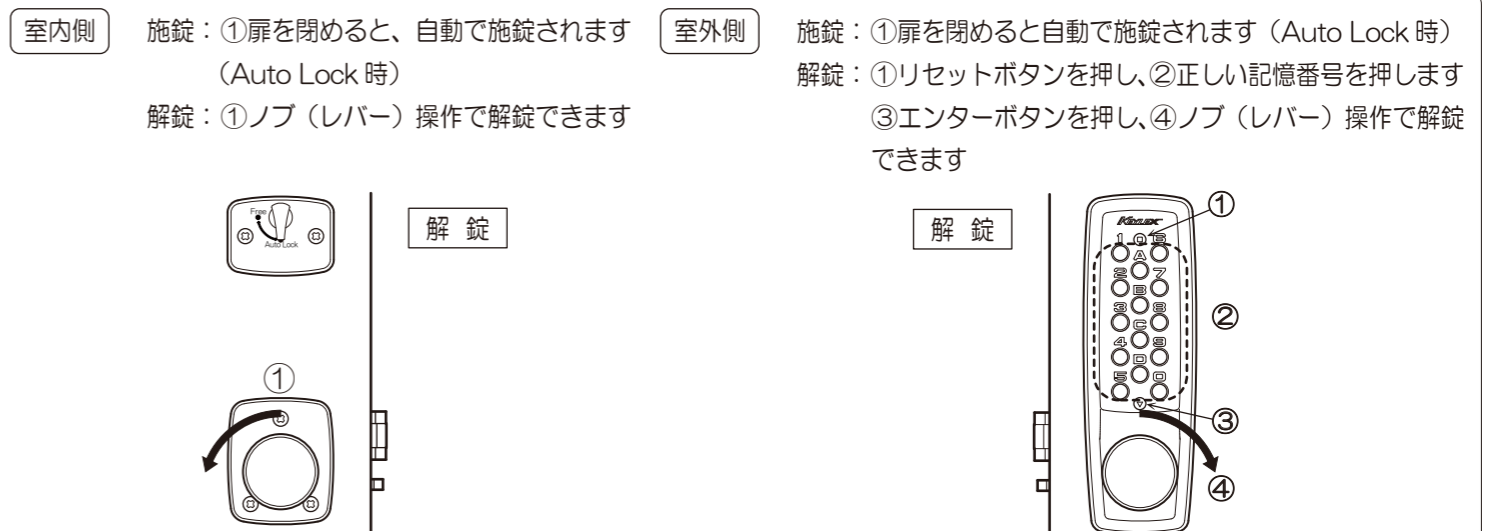
株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

6 作動確認： レバーハンドルが作動しない場合は、**2** [2] [3] **4** **5** をもう一度確認してください

260003

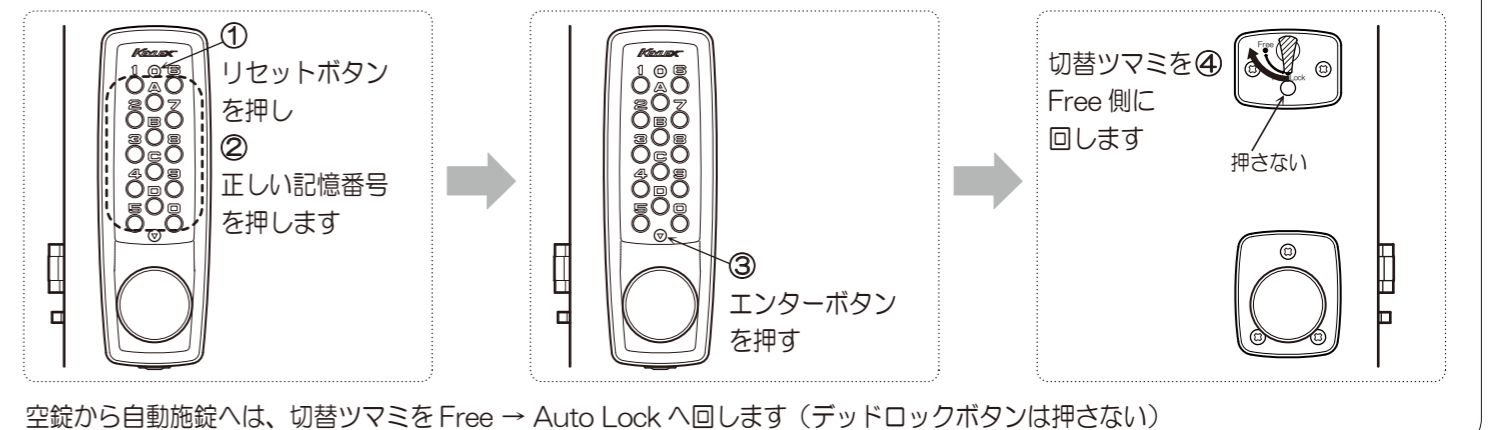


鍵付タイプ（品番末尾 M,D）の場合は、ボタン操作の代わりに、キー操作でも解錠できます

解錠：①シリンダーにキーを入れて回したまま、ノブ（レバー）操作で扉を開けます

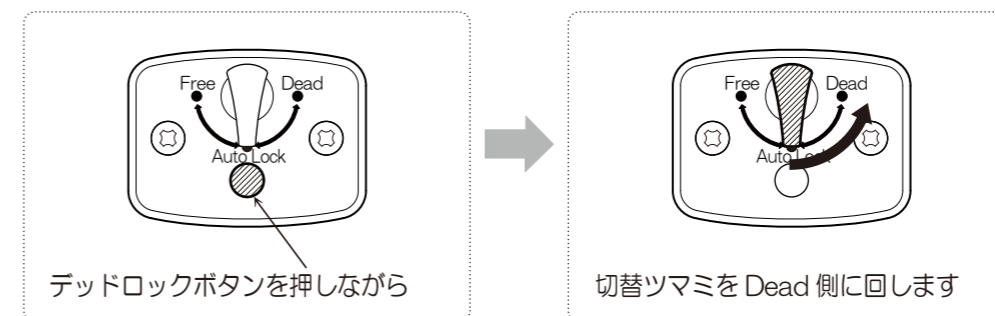
7 空錠への切替： 自動施錠から、扉を閉めても施錠しない状態【空錠】にすることができます（Auto Lock から Free）

扉を開けた状態で操作します



8 デッドロック機能： 解錠をキー操作だけに切り替えられる機能です

デッドロックボタンが付いているキーレックスの機能です。記憶ボタンによる解錠機能をロック【使用不可能】にすることで解錠できる人員を限定でき、出入りを制限したい場所などに有効です



デッドロックから自動施錠へは、切替ツマミを Dead → Auto Lock へ回します（デッドロックボタンは押さない）